

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	第2回入間市シティセールス戦略会議
開 催 日 時	平成27年3月16日(月) 午後3時00分開会・午後4時55分閉会
開 催 場 所	市庁舎C棟4階 入札室
議 長 氏 名	小林 昌幸
出席委員(者)氏名	関山 祐介、相本 大地、小川 大策、小林 昌幸 西澤 正夫、高橋 進、椎葉 京子
欠席委員(者)氏名	なし
説明者の職氏名	商工課 副主幹 村山 泰貴
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 議題 (1) シティセールス戦略について ①これからの地域経営について ②意見交換 (2) その他 3 その他 4 閉会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	1人
配 布 資 料	これからの日本 これからの地域
事務局職員職氏名	環境経済部長 山崎利明、次長 増岡 清、副参事 守屋俊久 商工課長 宮岡利雄、副主幹 村山泰貴
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

次の議題について事務局から説明。

① については、関山副委員長より説明のあと、意見交換を行った。

(1) シティセールス戦略について

① これからの地域経営について

② 意見交換

(2) その他

【用意したもの】

ホワイトボード (5枚)

入間市のジオラマ (地形図)

入間市白地図

入間市航空写真

平成25年度版 入間市統計書、防災マップ

広報いるま (2014年1月1日号～2015年3月1日号)

他 観光ガイド等各種資料

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
小林委員長	<p>(委員及び事務局の発言が行われた部分のみ記述する)</p> <p>それでは、議事に入ります。議事(1)「シティセールス戦略について」を議題とします。</p> <p>前回すばらしい見識をいただきましたので、今回はその幅を広げていただくために関山副委員長にお話いただきたいと思います。</p> <p>(賛成の声)</p> <p>それでは、関山副委員長をお願いします。</p>
関山副委員長	<p>例えば、経済成長著しいミャンマーは、軍事政権から民主化国家となり国を挙げて産業振興し観光にも入れ込んでいます。このように、日本は観光立国を目指すとっていますが、そうすると、ライバルは世界中にある!ということなになります。世界中の国や地域も観光客には来て欲しい、滞在し、土産を買ってほしいと強烈な勢いで頑張っているのです。ですから、机上の空論でなく、成果がちゃんと出る計画を作り、着実に実践していかないと、日本は負けてしまいかねません。</p> <p>自分の地域の特色は何か、他の地域にない、唯一無二のものは何かを徹底して追及し見出さないとなりません。しかも、観光は水ものです。しっかりしたものでないと一過性のヒットは出せても、もっと魅力的なものが他に出てくると、お客様はすぐに潮を引くように去っていく。だから、巨額な投資やインフラ整備はとてリスクが高くなります。</p> <p>それから、私たちがしっかり認識しなくてはいけないのは、40年後に潰れていく地方についてです。都市部を中心に強いインパクトがあった予測ですが、過疎で苦しんでいる地域は、ずっと昔から苦しんでいるのですから、今更、大変だと言うのか!遅いよ!という話です。ただ、これから予測しなくてはならないのは、田舎で人口がどんどん減っているのに、</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>ベットタウンだから大丈夫と他人事でいると、必ず余波を受け、我々の生活ができなくなることです。ただでさえ農業従事者は高齢です。ということは、あと数年で田んぼや農業を継ぐ人がいなくなる。すると、都会に住む日本人は食品が入手できない時代がすぐにくる。なのに、都市部の人は、スーパーがあると安心している。地方が潰れたら、都市も食べ物を仕入れることができなくなるので、やがては潰れていく現実があるのです。</p> <p>シティセールスとかシティプロモーションとか、雰囲気の良い言葉や訳の分からない英語でつづった言葉に踊らされず、本当は真剣に「地域は自分でつくっていかなくてはならない」と言い換えないとけません。そこが問われているのです。田舎はもちろん都市もです。</p> <p>さて、入間はお茶が名産、相撲のイベントもあると言われます。でも、ベットタウンの利便性を中心に生活している市民の方々が、どれだけそれを知っているのでしょうか。他の地域の方に、うちのお茶はすばらしいよと自慢しているのでしょうか？たぶん「そういえばあったな」ぐらいのものかも知れませんね。</p> <p>もし、そのような中で、シティセールスとか地域PRをいかにすべきかを議論しても話になりません。地域の現状や現実をよく見つめなおしていないのに、PRしても空振りや徒労が待っている。一体、入間市の財産、資源は何があるのかをよく考えないとなりません。真剣かつ必死にです。</p> <p>それから、観光政策で施策立案して失敗する代表的な例として、外注化することがあります。民間に任せて、いくら分厚い観光振興計画を作っても意味がない。中身がない。現実を見ていない。絵に書いた餅のような、どこにでもあるような企画になっている。市民や地域の息吹が注ぎ込まれていない。外見は良いけれど中身がないということが多い。それなのに、計画ができれば、とりあえず安心してしまう。PRも広告代理店に丸投げして、どこの地域も同じようなPRに、巨額の予算を計上し費やしても成果はなかなか出ないものです。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>国の肝いりで、地方創生プロジェクトもスタートしましたが、自治体の中には「突然提案を出せと言われても困る」とか、「国のお金だからとりあえず提案書を出せばいいや」という考えで臨んでいるところもあります。国の金だから適当で良いということにはなりません。元々は国民の税金なので、有効に使い成果を出せるように、真剣に悩まないとならないはずなのに……。失敗したら、また莫大な借金を国民が負うこととなりますから。</p> <p>しっかり将来を見据えていない無理やり作ったイベント興行を目指すのも、とにかく人を呼べれば良いという発想もやめましょう。人が来たからといって、すぐにその人たちが地域にお金を落とすことはないのです。</p> <p>イベントを含めて、どこのまちを見ても同じ事を追いかけていますね。サイクリング、トライアスロン、マラソン……。意味がないとは言わないけれど、そこでないと味わえない特別な価値あるものとはいえません。他の地域が同じようなイベントを大々的に実施すれば負けてしまうかも知れません。もっと大切な、その地域にしかないもの、他者が真似できない独自の価値を見出さなければ、次々とライバルが現れてしまう。地域独自のものを見出さないと絶対的価値を作れません。</p> <p>例えば、秋田の「なまはげ」は、代々伝わる文化と伝統の催しなのですが、最近では、なまはげが来ると、子どもがひどく怯えてしまうし、なまはげを家に迎えるには食の膳を用意しないといけないのが大変だからと、地元の人たちの中には、なまはげという文化に拒否感を感じる人も増えています。たしかに面倒だという気持ちは分かりますが、そうやって独自の地域の伝統や文化を捨てて合理的に都会のようしていけば、後は何も残らない。都会のように規格品化したら、東京などの都市と同じになり、同じ土俵で戦ったら勝ち目はありません。</p> <p>独自の地域の価値を見つけて、大切に育てることが大事なのに、それを見つげようとしなかったり、廃棄してしまっただけでは、魅力は何もなくなる。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>独自の唯一無二の価値こそ肝心なのです。</p> <p>しかし、地域の価値はというものは、案外、地元の人たちは分からない。気がつきにくい。みなさん、当たり前とっていて、かえって、独自の価値が見つけられない。ですから、観光を掲げて成功する自治体は、地元の人ではなく、むしろ、他の地域から来た人が地域独自の価値を発見しやすいものなのです。しがらみもないし、こういうところがすばらしいとか面白いと思うから、観光にくるし、住むのですから・・・。ですから、ここが良い、あそこが良いという貴重な価値は、外部から来た人にも確認し聞くことが肝心なのです。</p> <p>例えば、箱根や軽井沢は明治以来、海外からの人たちがリゾート地として最適と考えて住むようになった。それまでは地元は、その価値が分からなかった。灯台元暗し。なのです。リゾートだとか避暑地なんて考えすら地元にはなかったのですから、価値が分からなかった。</p> <p>ですから、まず地域の魅力は何かを徹底して見つめ直してみるのが大切なのだと思います。まずはそこからです。そして、地域の文化、歴史、伝統、工芸、食をしっかりと守り続けることが大事。そして意外なミスマッチな「何か」を付け加えて、人に驚きと感動、喜びを提供できる付加価値を作ることが大切なことだと思います。</p> <p>そのためには、生活者の目線、庶民の目線、生活者のフィーリングで動くことが必要で、莫大な計画書を作成してもその通りになる組織も地域もありません。もし、あるなら、計画書を書いた世界中の地域や企業はみな黒字になっているはずです。</p> <p>それから、観光とは、何かをしっかりと考えないとなりません。単に、人が来るだけなら、迷惑とゴミしか残さない。一方で、観光客は、時間とお金を消費するつもりで来ている。ですから、時間とお金を消費してもらえて、満足してくれる何かがないとならないのです。あれだけ混雑して、アトラクションに乗るのも大変なディズニーランドに人がリピーターで訪</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>れ、お金をたくさん落としていくのは、あそこにしかない唯一無二の価値があるからでしょう。</p> <p>観光学では 100km の壁というものがあります。人は 100km を超えたところに移動すると、その地に対して、宿泊エリアや滞在型を求めるようになりやすくなる。それが 60km 圏内では、日帰り型かリクリエーションを求める場所になる傾向があるとされています。</p> <p>この考え方は、リゾート型とリクリエーション型の企画設計の際にとっても大事なことだと思います。</p> <p>となると、都市部の地域が目指す観光とは、「将来の定住促進のための視察受け入れ」の仕掛けがコンセプトの一つになると思えます。入間市には、観光に来られてたくさんの方が宿泊できる施設はありません。多くの市民にとって、東京へ通勤するための生活拠点という認識が強いはず。しかし、通勤に便利ということだけで、人は住むわけではなく、必ず、自分の地域に、メリットや特色、価値を見出しているはずなのです。そうでなければ、都市といえども人口は減少していくはずですから・・・。</p> <p>そこで、一見、遠回りに見えることを、しっかりやるのが一番の近道と言われるとおり、まずは、生活者のレベルで、この入間市にある、あらゆる価値を一旦すべて書き出してみましよう。</p> <p>そして、それを検証してみるのです。それから、それらを組み立てて仮説を立ててみるのです。ここには地元の方、他所からここが気に入って住んでおられる方がおいでになります。これは、素晴らしいバランスだと思います。</p> <p>では皆さんいったん席を立ててください。企画したり議論する時は、机に座って意見を言うだけではダメなのです。どんどん動いてどんどんホワイトボードに書き込んでいただき、みんなで、それを見て、情報を共有化し、意見を言い、書き足していく作業をしていきたいと思えます。</p> <p>入間市にどういうものがあるか、どんな地域なのか、なんでもいいので</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>たくさん、ありっただけ、できる限り意見やアイデアを出していただきたいのです。私は、完全の他所者ですから、皆様がここはすばらしいといわれたら、何故すばらしいのか、どういう具合に良いのか、恐縮ながら突っ込みを入れさせていただきたいと思います。</p> <p>全委員、席を立ち入間市のジオラマ（地形図）を囲み意見交換。各委員より発言のあった意見をホワイトボードに書き写した。</p> <p>自衛隊 →朝霞市の幼稚園は遠足で 航空祭 ロッククライミング（ボルダリング） ジョンソンバーガー →食べられるところがわからない 茶畑 米軍 米軍ハウス 米軍の文化 音楽家 フォークソングの聖地 漫画家 ユーミン YMO 細野晴臣 昔なつかしい家 昔の横浜がある 懐かしくて帰ってきた 崖の下の雰囲気 かたくりの自生地 アメリカっぽい雰囲気 景色がすばらしい 稲荷山公園 彩の森公園の景色 アメリカっぽい雰囲気 昔の昭和 ハワイ 沖縄＝憧れのアメリカ ゆったりした生活 田舎でなくカントリー</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>茶店は？ ないかな 公的施設</p> <p>アメリカ風の家に住みたいと思う</p> <p>昭和のにおいがする家に住みたい</p> <p>なつかしい家 浅草っぽい</p> <p>都会から西武線の景色がなつかしい</p> <p>電車からの景色が昔見た風景がある</p> <p>電車からのストーリーがある</p> <p>ジョンソントウン+アウトレット+コストコ</p> <p>ジョンソントウン →観光客に来て欲しくない お金を使わない</p> <p>ジョンソンカフェ</p> <p>昔ながらのなつかしい</p> <p>不便さ</p> <p>イルマニア</p> <p>金子駅</p> <p>富士山が大きく見える</p> <p>入間市なのに狭山茶</p> <p>昔の滑走路</p> <p>交通手段</p> <p>坂 歩きたくない坂</p> <p>疲れた時の茶店がない</p> <p>駐車場がない</p> <p>犬が多い 愛犬家が多い</p> <p>彩の森公園へ車で来て犬のお散歩</p> <p>ジョンソントウンのキャパ限界</p> <p>入間市駅利用者は稲荷山公園駅より多い</p> <p>アウトレットへは高速道路</p> <p>客層が違う</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p> コストコは立川へ流れる パッケージを使うとアメリカになる お客は南から来ている ジョンソンタウンは住みたくて来る 家賃が高い クレームが多い 空き家をレトロ調に ポスピタリティが悪い 磨くべき 300万～500万円あれば新築でレトロ調 30代を狙う 最終的に住む家を決めるのは女性 自然ゾーンと分ける 八高線 西武線じゃないとダメ 入間市駅をメインに 茶畑 →香りコンテスト 防霜ファンにデザイン 防霜ファンでイルミネーション 香りを味わう 安全なまち 近いけど遠い →特に茶屋 お茶屋さん →入りづらい 入間市なのに狭山茶 お茶 味が良い 雑木林 相撲 関取とちゃんこ 6月わんぱく相撲 10月春日野部屋 </p>

発 言 者	発 言 内 容
小林委員長	<p>休めるところが必要</p> <p>長い時間に渡りまして貴重なご意見ありがとうございました。ホワイトボードに書ききれないほどいろいろご意見を出していただきました。このご意見を基にまた議論をしてみたいと思います。</p> <p>その他はありますか？</p>
小川委員	<p>西武鉄道の入間市駅について申し上げます。西武鉄道は2015年4月15日池袋、飯能間が開業100周年を迎え、入間市駅は開業時豊岡町で開業しています。平成5年に特急が停車し、利用者は2005年に底であったが、2008年三井アウトレットの開業でピークになった。現在は微増で西武鉄道91駅のうち26位の乗降者数です。</p> <p>沿線の市町の取り組み例ですが、横瀬町は、短所の寒さを逆手にとり「氷柱」イベントを実施。1ヶ月半で5万人来場、入場料200円を徴し、丸々収入となっている。甘酒や特産品の紅茶の振る舞いなどを行ない、振る舞うことによって買ってもらうことをしました。</p> <p>東久留米市は、自分のところがないので外のものを活用することで、東久留米市から見える富士山「ダイヤモンド富士」を12月の3日間実施し、多くの方に東久留米市の良さを感じてもらっています。</p> <p>短所や何もないところから生み出す工夫をしています。</p>
小林委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>他にありますか。長時間にわたりありがとうございました。</p> <p>次回の日程は、5月末頃になるようです。事務局から連絡がありますのでお待ちください。</p> <p>以上で第2回会議を終了します。</p>

発 言 者	発 言 内 容
議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。	
年 月 日	
議 長 の 署 名	_____
議長が指名した者の署名	_____